

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和 2年 1月 9日 更新

事務事業名		雨水利用促進事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康	所属部	市民生活部	課長名	岡田 光弘
	施策	19	水環境の保全	所属課	環境衛生課	担当者名	吉原 裕人
	施策の柱	59	地下水のかん養と河川、池沼の汚染防止	所属班	環境衛生班	(内線)	1143
予算科目	会計一般	款 4	項 1	目 7	事業連番 11380	根拠法令	合志市雨水タンク設置補助金交付要綱
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 30年度で終了 <input type="checkbox"/> 30年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	地下水保全のため雨水浸透ますの設置補助金を交付していたが、対象者が少なく(開発に伴う雨水浸透ますの設置は対象外)平成20年度から補助を行っていないため、雨水浸透ますに替わる地下水保全対策として平成21年度よりこの事業を計画した。 平成24年度より、「くまもと地下水財団」の補助要綱に合わせ、補助金の額は雨水タンクの容積が200ℓ以上の場合、本体の取得価格の1/2以内、上限を35,000円とし、容積が200ℓ未満の場合、本体取得価格の1/2以内、上限を24,000円とする。また助成の対象は1世帯及び1事業所1基までとし、雨水タンクの有効貯水量が50ℓ以上であることとする。雨水を散水等に再利用することにより、地下水の採取量の減少が見込まれ、節水対策になる。
【業務の流れ】	補助金交付申請、決定通知、完了報告、完了検査、確定通知、支払い。 くまもと親財団への補助金交付申請、補助金の請求事務、実績報告書提出
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金(補助金)
【意見や要望】	住民から助成に対しての問い合わせがある。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 30年度実績(30年度に行った主な活動)(DO)	雨水タンク設置に伴う補助金交付申請受付、決定通知、完了報告、支払い事務を行い、2件の補助金交付を行った。また、「くまもと地下水財団」からの補助金受け入れを行った。	31年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
【基準に達しなかった理由】	雨水タンク補助金申請件数が、見込みより少なかったため。	雨水タンク設置者に購入費の助成(35,000円×3基、24,000円×2基)を予定している。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
→ア:申請・交付件数		雨水タンク設置補助金申請見込み件数の減に伴う補助金の減
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	世帯	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
		(単位) 世帯
		→ア:世帯数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	雨水を有効活用する。	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
		(単位) 世帯
		→ア:雨水タンクを設置した世帯
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
雨水タンクを設置することで、地下水の保全、水資源の有効利用を図ることが重要であり、成果指標を「雨水タンクを設置した世帯」とし、目標値については申請が減少傾向にあることから「5世帯」と設定した。		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	28年度実績(決算)	29年度実績(決算)	30年度目標(当初予算)	30年度実績(決算)	31年度目標(当初予算)	2年度予定	3年度見込	4年度見込	
①活動指標	ア	件	5	7	12	2	5	5	5	5	
	イ										
②対象指標	ア	世帯	23,552	24,021	23,700	24,519	24,710	25,200	25,400	25,700	
	イ										
③成果指標	ア	世帯	5	7	12	2	7	8	9	10	
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円	120	123	295	33	153	153	153	153
		繰入金	千円								
	一般財源	千円									
(A)事業費計	(A)事業費計	千円	120	123	295	33	153	153	153	153	
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	正規職員従事人数	人	3	3	5	3	5	5	5	5	
	延べ業務時間	時間	110	210	240	210	240	240	240	240	
(B)人件費計	千円	0	830	956	827	956	956	956	956		
トータルコスト(A)+(B)	千円	120	953	1,251	860	1,109	1,109	1,109	1,109		

事務事業名	雨水利用促進事業	所属部	市民生活部	所属課	環境衛生課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は30年度の事後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 申請件数の減のため。
	②31年度目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 住民からの問い合わせがあるが、補助金交付決定までは至らない。今後はホームページ、広報誌等を活用し周知を図ることで、目標値に近づけていく。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 多くの世帯へ普及することで、地下水の保全、水資源の有効利用を図ることができる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 類似事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 補助金交付に関する事業のため削減は厳しい。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 補助金交付関係事務のため、正規職員以外では問題がある。また、適正な事務執行のための最低限な事務量と考えられるので削減は難しい。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市内の全世帯を対象としているため公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 補助金交付関係事務のため適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

問い合わせのみの案件も数件あり、雨水タンクを購入し雨水を再利用する世帯が増えるように周知を図ることが必要。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						